

科目名	アドバンスレッスン 1							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科サウンドクリエイターコース 2年次	必／選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	田熊知存/川島基宏/須藤直也/杉山航平/古峰拓真/下條慧		教員の実務経験		有	実務経験の職種		作編曲家	
【科目の目的】 プロの作曲家、アーティストになるための知識とスキルを得ることを目的とする。 1年次は基礎知識を中心に自分が作りたい楽曲と向き合い、作曲に必要な技術の土台を形成する。 座学と実技を複合的に捉え、音として再現していくためにどのような思考が必要なのかを個々で能動的に考えられるように、各授業の講師が手助けをしていく。 前期発表会でフルコーラスの楽曲を作ること、卒業制作用の楽曲の制作を目標とする。									
【科目の概要】 作曲に必要な知識を学ぶための総合的な授業。「作曲ゼミ（週2コマ）」「作曲法」「ミックス」「アレンジ」「楽器レッスン」「コードアナライズ」「卒業制作（週2コマ）」の8つの授業で構成される。 下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。 作曲ゼミは個人レッスン、他の授業は全体授業である。									
【到達目標】 A. ノンダイアトニックを用いながらコード進行を作成できる B. メロディを作成できる C. 楽曲のミックスができる D. 楽曲のアレンジができる E. フルコーラスのボーカル楽曲を作成できる									
【授業の注意点】 専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	機能を考えた上ですべてのコード進行を自分で作成できる		講師の手を借りてコード進行を作成できる		コード進行を作成できない				
到達目標 B	全てのメロディを一人で作成できる		講師の手を借りてメロディを作成できる		メロディを作成できない				
到達目標 C	適切なボリュームバランスを設定し、用途を言語化できる上でエフェクトを使うことができる		ボリュームバランスが取れるがエフェクトは掛け方が分からない。		ボリュームバランスが取れず、エフェクトも掛けられない				
到達目標 D	4rhythmアレンジができ、更に楽器を足したアレンジができる		4rhythmアレンジができる		4rhythmアレンジができない				
到達目標 E	ボーカルRECを行った上でフルコーラスの楽曲を作成できる		ガイドメロでフルコーラスの楽曲を作成できる		フルコーラスの楽曲を作成できない				

【教科書】									
【参考資料】									
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名		アドバンスレッスン 1						年度	2025
英語表記		Advanced lesson 1						学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル			評価方法	自己評価
1	レベルチェック	個々のレベルを チェック 自己紹介	1	プレゼンテーション	自分の考えを大勢の前で発表できるようになる				
			2	講師評価	講師からのアドバイスで新たな知見を得ることができる				
			3	目標設定	やりたいことを言語化し、明確にすることができる				
2	ミックス①	モジュレーション	1	モジュレーション系 FXの種類	該当エフェクトの種類を知ることができる				
			2	各種パラメータ	各種パラメータについて理解できる				
			3	各種エフェクトの使 い道	各種エフェクトの使い道を理解できる				
3	ミックス②	実践	1	SM処理	SM処理の方法を理解できる				
			2	パラデータミックス	用意されたデータをミックスできる				
			3	グループディスカッ ション	2でミックスした楽曲をグループで解説できる				
4	ミックス③	マスタリング	1	必要なエフェクト	マスタリングに必要なエフェクトを用意する				
			2	エフェクトの順番	FXの順番を理解し適切な値を設定できるようになる				
			3	実践	2 MIXデータをマスタリングできるようになる				
5	ノーテーション	リードシートを書け るようになる	1	ミューズスコアの使 用方法	譜面ソフトの使い方を理解できる				
			2	既存曲のリードシ ート作成	既存曲を使いリードシートの作り方を理解できる				
			3	自作曲のリードシ ート作成	自作曲のリードシートを作ることができる				
6	レコーディング ①	マイキング	1	ボーカル	ボーカルRECのマイキングを理解できる				
			2	ピアノ	ピアノRECのマイキングを理解できる				
			3	ギター	ギターRECのマイキングを理解できる				
7	レコーディング ②	マイキング、ミキシ ング	1	ベース	ベースRECのマイキングを理解できる				
			2	ミキシング	RECした楽器のDAW上での処理を理解できる				
			3	ミキシング②	RECした楽器のDAW上での処理を理解できる				
8	アレンジ①	弦楽器	1	フレーズ	各セクションのフレーズを理解できる				
			2	弦の積み方	各セクションの積み重ね方を理解できる				
			3	打ち込み方	MIDI上でのCC処理を理解できる				
9	アレンジ②	管楽器	1	フレーズ	各セクションのフレーズを理解できる				
			2	管の積み方	各セクションの積み重ね方を理解できる				
			3	打ち込み方	MIDI上でのCC処理を理解できる				

10	アレンジ③	シンセ	1	構造	シンセの構造について理解できる		
			2	パラメータ	各パラメータについて理解できる		
			3	打ち込み方	MIDI上での打ち込みができるようになる		
11	コードアナライズ①	既存曲の分析①	1	センカンダリードミナント	センカンダリードミナントについて理解できる		
			2	モーダルインターチェンジ①	モーダルインターチェンジについて理解できる		
			3	モーダルインターチェンジ②	モーダルインターチェンジの使い方について理解できる		
12	コードアナライズ②	既存曲分析②	1	置換ドミナント	置換ドミナントについて理解できる		
			2	代理和音①	代理和音の種類について理解できる		
			3	代理和音②	代理和音を利用できる		
13	コードアナライズ③	既存曲の分析③	1	パッシングコード	パッシングコードについて理解できる		
			2	ナチュラルテンション	ナチュラルテンションについて理解できる		
			3	オルタードテンション	オルタードテンションについて理解できる		
14	発表会準備	前期発表会に向けて楽曲を仕上げる	1	メロ、コード進行	メロとコード進行の整合性が取れる		
			2	ミックス	FX、ボリュームバランスについて調整ができる		
			3	アレンジ	各楽器のアレンジができる		
15	前期発表会	前期で作った楽曲の発表（フルコーラス）	1	プレゼンテーション	自分の楽曲について説明ができる		
			2	知識、技術	各授業で得た知識、技術を楽曲に活かすことができる		
			3	講師評価	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等